

鬼石病院事業会計

令和3年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計決算審査意見書

第1 審査の対象

(1) 決算書

令和3年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業決算報告書

同	損益計算書
同	剰余金計算書
同	欠損金処理計算書(案)
同	貸借対照表
同	キャッシュ・フロー計算書

(2) 決算付属書類

令和3年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業報告書

令和3年度藤岡市国民健康保険鬼石病院事業会計収益費用明細書

同	資本的収入支出明細書
同	固定資産明細書
同	企業債明細書

第2 審査の期間

令和4年6月21日から同年8月10日まで

第3 審査の方法

審査に当たっては、地方公営企業法第30条第2項の規定により、市長から提出された決算書及び決算付属書類が、関係法令の規定に従い作成されているか、また事業の財政状況及び経営成績を適正に表示しているかを検証するため、総勘定元帳をはじめ関係諸帳簿及び証拠書類等の照合確認のほか、貯蔵品については棚卸に立合い、確認をした。

次に、経営内容を把握するため計数の確認分析を行い、事業運営が地方公営企業法第3条の趣旨に従ってなされているかを主眼に審査を行い、必要に応じて担当職員の説明を聴取した。

第4 審査の結果

審査に付された決算書及び財務諸表は、地方公営企業法及び関係法令の定めるところにより作成されており、この会計処理については、公営企業会計の原則に準拠して行われ、その計数は正確であり、関係諸帳簿と一致している。

事業の経営成績及び財政状況は適正に表示されているものと認めた。

なお、現金の年度末残高は病院事業出納取扱金融機関の預金残高と一致していた。

病院事業

第5 審査の概要

1 業務状況

(1) 病床利用状況

区 分	一般病床	療養病床	令和3年度	令和2年度
許可病床数(床)	52	47	99	99
年間許可病床数(床)	18,980	17,155	36,135	36,135
延患者数(人)	16,855	14,923	31,778	33,038
1日平均患者数(人)	46.2	40.9	87.1	90.5
病床利用率(%)	88.8	87.0	87.9	91.4

令和3年度における延許可病床数は36,135床で、延患者数は31,778人である。

(2) 患者数及び料金収益

(消費税抜)

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減	増減率	
入	患者数 (人)	延 患 者 数	31,778	33,038	△ 1,260	△ 3.8
		1日平均患者数	87.1	90.5	△ 3.4	△ 3.8
院	料金収入 (円)	総 額	841,635,068	835,506,927	6,128,141	0.7
		1人1日平均	26,485	25,289	1,196	4.7
外	患者数 (人)	延 患 者 数	19,124	18,867	257	1.4
		1日平均患者数	65.0	64.4	0.6	0.9
来	料金収入 (円)	総 額	129,075,586	120,288,164	8,787,422	7.3
		1人1日平均	6,749	6,376	373	5.9

令和3年度における入院患者数は31,778人で、前年度と比較して1,260人(3.8%)減少している。また、年間外来患者数は19,124人で、前年度と比較して257人(1.4%)増加し、一日平均では0.6人の増加となっている。

料金収入は、入院では841,635,068円で前年度と比較して6,128,141円(0.7%)増加し、外来については129,075,586円で前年度と比較して8,787,422円(7.3%)の増加となっている。

なお、過去3年間の病院業務の概要は別表1のとおりである。

2 決算報告書

(1) 収益的収入及び支出

収 入		(単位：円・%) 消費税込み		
区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
医 業 収 益	998,891,000	1,011,657,952	12,766,952	101.3
医 業 外 収 益	235,657,000	241,329,614	5,672,614	102.4
特 別 利 益	2,000	0	△ 2,000	0
訪問看護ステーション収益	24,540,000	24,148,166	△ 391,834	98.4
計	1,259,090,000	1,277,135,732	18,045,732	101.4

病院事業収益の決算額は1,277,135,732円で、予算額1,259,090,000円に対して101.4%の収入率であり、前年度決算額1,263,508,002円と比較して13,627,730円(1.1%)の増加となっている。

収入内訳は、医業収益1,011,657,952円、医業外収益241,329,614円、訪問看護ステーション収益24,148,166円となっている。

支 出		(単位：円・%) 消費税込み			
区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
医 業 費 用	1,247,104,000	1,227,111,614	0	19,992,386	98.4
医 業 外 費 用	16,400,000	14,296,728	0	2,103,272	87.2
特 別 損 失	502,000	0	0	502,000	0
訪問看護ステーション費用	34,036,000	33,604,067	0	431,933	98.7
予 備 費	1,000,000	0	0	1,000,000	0
計	1,299,042,000	1,275,012,409	0	24,029,591	98.2

病院事業費用の決算額は1,275,012,409円で、予算額1,299,042,000円に対して98.2%の執行率であり、前年度決算額1,258,415,910円と比較して16,596,499円(1.3%)の増加となっている。

病院事業収益決算額1,277,135,732円(うち仮受消費税及び地方消費税4,070,843円)に対し、病院事業費用決算額は1,275,012,409円(うち仮払消費税及び地方消費税25,810,153円)で、当期決算の収支差額(収入-支出)は2,123,323円であり、前年度の5,092,092円と比較すると、2,968,769円の減少となっている。主な要因として、収入では公立藤岡総合病院の後方支援病院の機能が発揮され、高い病床利用率が確保できたことや新型コロナウイルス感染症に関連する補助金等の収入が得られたことがあげられる。費用については、倉林医師が地域連携医療センター長に就任と整形外科医の常勤医が就任したことで人件費の増加はあったが、経費の削減が収支の改善につながり2年連続の黒字決算となっている。

なお、詳細については、病院事業会計予算決算対照表(別表2)のとおりである。

病院事業

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	対予算比較	収入率
企 業 債	3,400,000	3,400,000	0	100.0
他 会 計 補 助 金	32,060,000	32,890,493	830,493	102.6
固 定 資 産 売 却 代 金	1,000	0	△ 1,000	0
計	35,461,000	36,290,493	829,493	102.3

資本的収入の決算額は36,290,493円で、予算額35,461,000円に対して102.3%の収入率であり、前年度決算額71,560,601円と比較して35,270,108円(49.3%)の減少となっている。他会計補助金の内訳は、企業債償還元金分25,106,493円、過疎債3,400,000円、国県補助金4,384,000円である。

支 出

(単位：円・%) 消費税込み

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	執行率
建 設 改 良 費	16,306,000	14,453,890	0	1,852,110	88.6
企 業 債 償 還 金	41,810,000	41,809,818	0	182	100.0
計	58,116,000	56,263,708	0	1,852,292	96.8

資本的支出の決算額は56,263,708円で、予算額58,116,000円に対して96.8%の執行率であり、前年度決算額89,603,239円と比較して33,339,531円(37.2%)の減少となっている。

また、当年度に実施された建設改良費は、器械備品購入費12,462,890円、工事請負費1,991,000円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額19,973,215円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額47,007円と過年度分損益勘定留保資金19,926,208円で補っている。

3 損益計算書

(1) 経営状況

当年度の経営実績は、事業収益が1,274,105,976円と対前年度比1.1%増加したのに対し、事業費用は1,272,156,497円と対前年度比1.3%の増加となり、差し引き1,949,479円の利益を計上している。公営企業の収支内容を示す経常収支比率(別表5)は、100.2%で前年度と比較して0.2ポイント下降している。

また、経営状態を示す医業収支比率(別表5)も、83.9%で前年度と比較して1.7ポイント下降している。

なお、経営状況は損益計算書前年度比較表(別表3)のとおりである。

主要科目の状況を前年度と比較すると次表のとおりである。

収益費用の前年度比較表 (単位:円・%) 消費税抜き

区 分	令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率
(事業収益)	1,274,105,976	1,260,607,055	13,498,921	1.1
医 業 収 益	1,008,204,834	1,004,829,554	3,375,280	0.3
医 業 外 収 益	241,866,692	199,106,871	42,759,821	21.5
訪問看護ステーション収益	24,034,450	27,810,840	△ 3,776,390	△ 13.6
特 別 利 益	0	28,859,790	△ 28,859,790	皆減
(事業費用)	1,272,156,497	1,255,769,240	16,387,257	1.3
医 業 費 用	1,201,461,174	1,153,955,627	47,505,547	4.1
医 業 外 費 用	37,247,129	41,086,127	△ 3,838,998	△ 9.3
訪問看護ステーション費用	33,448,194	31,867,696	1,580,498	5.0
特 別 損 失	0	28,859,790	△ 28,859,790	皆減
純利益 (△純損失)	1,949,479	4,837,815	△ 2,888,336	△ 59.7

(2) 事業収益

事業収益のうち医業収益は、前年度と比較して3,375,280円(0.3%)増加、医業外収益は42,759,821円(21.5%)増加している。これは公立藤岡総合病院の後方支援的な役割として機能したことで、高い病床利用率が確保できたことと、新型コロナウイルス感染症に関連する補助金等の収入が主な要因である。

(3) 事業費用

事業費用のうち医業費用は、前年度と比較して47,505,547円(4.1%)増加している。これは主に、給与費が前年度と比較して49,368,795円(6.2%)増加したことが要因である。

医業外費用は、前年度と比較して3,838,998円(9.3%)の減少となっている。これは雑支出が前年度と比較して3,264,821円(9.8%)減少したことが主な要因である。

4 剰余金計算書

利益剰余金は、前年度末残高△1,109,024,368円と当年度純利益1,949,479円を合計した△1,107,074,889円となっている。

資本剰余金は、前年度末残高23,140,878円から他会計負担金受入額1,299,493円が増加され当年度末残高24,440,371円となった。受贈財産評価額、寄附金、国県補助金については変動はなかった。

資本金も変動はなく、資本合計は前年度末残高362,877,757円から当年度純利益1,949,479円と他会計負担金受入額1,299,493円を合わせ当年度末残高366,126,729円となった。

5 欠損金処理計算書(案)

当年度未処理欠損金1,113,574,889円については、全額を翌年度繰越欠損金として計上している。

6 貸借対照表

財政状況の前年度比較表

(単位:円・%)

区 分		令和3年度	令和2年度	増 減 額	増減率	
資 産	固定資産	886,200,479	940,292,926	△ 54,092,447	△ 5.8	
	流動資産	570,987,821	554,715,824	16,271,997	2.9	
	合 計	1,457,188,300	1,495,008,750	△ 37,820,450	△ 2.5	
負 債 ・ 資 本	負 債	固定負債	728,096,578	727,803,479	293,099	0.0
		流動負債	154,384,696	196,677,953	△ 42,293,257	△ 21.5
		繰延収益	208,580,297	207,649,561	930,736	0.4
		計	1,091,061,571	1,132,130,993	△ 41,069,422	△ 3.6
	資 本	資本金	1,448,761,247	1,448,761,247	0	0
		剰余金 (△欠損金)	△ 1,082,634,518	△ 1,085,883,490	3,248,972	△ 0.3
		計	366,126,729	362,877,757	3,248,972	0.9
	合 計	1,457,188,300	1,495,008,750	△ 37,820,450	△ 2.5	

(1) 資 産

当年度末の資産合計は1,457,188,300円で、前年度と比較して37,820,450円(2.5%)減少している。固定資産は886,200,479円で、前年度と比較して54,092,447円(5.8%)の減少、流動資産は570,987,821円で、前年度と比較して16,271,997円(2.9%)増加している。

(2) 負 債

当年度末の負債合計は1,091,061,571円で、前年度と比較して41,069,422円(3.6%)減少している。固定負債は728,096,578円で、前年度と比較して293,099円(0.0%)の増加、流動負債は154,384,696円で、前年度と比較して42,293,257円(21.5%)の減少である。また、繰延収益は208,580,297円で、前年度と比較して930,736円(0.4%)増加している。

(3) 資 本

当年度末の資本合計は366,126,729円で、前年度と比較して3,248,972円(0.9%)増加している。資本金は1,448,761,247円で、前年度と同額であり、欠損金は1,082,634,518円で、前年度と比較して3,248,972円(0.3%)減少している。

なお、詳細は、別表4のとおりである。

7 企業債の償還

企業債償還状況と入院外来収益に対する償還比率の推移は次のとおりである。

企業債償還状況と償還比率表

(単位：円・%)

年度	入院外来収益 (A)	企業債元利償還金			未償還残高	償還 比率
		元 金	利 息	計(B)		
22	936,586,987	40,726,270	25,962,762	66,689,032	875,095,354	7.1
23	867,669,589	57,889,393	24,474,371	82,363,764	819,905,961	9.5
24	847,397,146	60,039,498	22,727,523	82,767,021	766,366,463	9.8
25	874,959,017	60,980,953	20,914,689	81,895,642	723,185,510	9.4
26	888,652,508	59,793,542	19,071,781	78,865,323	663,391,968	8.9
27	898,754,461	59,052,254	17,134,456	76,186,710	615,139,714	8.5
28	820,754,652	59,216,257	15,135,409	74,351,666	571,223,457	9.1
29	896,298,768	63,327,980	13,041,145	76,369,125	520,795,477	8.5
30	982,534,670	67,717,774	10,848,325	78,566,099	480,777,703	8.0
元	951,620,794	50,752,731	8,566,357	59,319,088	440,524,972	6.2
2	955,795,091	41,385,413	7,617,667	49,003,080	418,939,559	5.1
3	970,710,654	41,809,818	7,112,674	48,922,492	380,529,741	5.0

(注) 償還比率は $B/A \times 100$

上表で示すとおり、当年度における企業債元利償還金は 48,922,492 円で、前年度と比較して 80,588 円 (0.2%) 減少している。

また、入院外来収益に対する企業債元利償還金は 5.0% で、前年度と比較して 0.1 ポイント低下した。

8 むすび

当年度の鬼石病院の年間延患者数は、入院患者 31,778 人、外来患者 19,124 人で、前年度と比較し入院患者数が 1,260 人減少し、外来患者数が 257 人増加した。外来患者数は微増であるが、平成 27 年度に 3 万人を下回って以降、前年度から引き続いて 2 万人を切っている。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えも要因としてあげられる。

また、病床利用率については、平成 22 年度までは 95% 以上の高水準を維持してきたが、平成 23 年度から低下傾向となり、平成 28 年度には 80.9% まで低下したものの、令和 2 年度は 91.4% と回復の兆しをみせたが、当年度は 87.9% と 3.5 ポイント低下している。

地域別の患者構成を見ると、入院患者は鬼石地区が 34.1%、藤岡地区が 35.5%、その他県内（神流町、上野村等）が 7.7%、県外（近接する埼玉県神川町等）が 22.7% となっている。また、外来患者は、鬼石地区 59.5%、藤岡地区 8.3%、その他県内 2.5%、県外 29.7% であり、地域医療の中核的な役割を担っている。

経営状況について見ると、平成 20 年度から欠損金が生じている中で、前年度は 4,837,815 円の純利益となった。当年度の損益勘定収支についても、事業収益 1,274,105,976 円に対し事業費用 1,272,156,497 円で、差し引き 1,949,479 円の純利益を計上している。過疎地域・山間僻地における医療供給体制は、通院困難者の問題、急速な高齢化の進行、老人単独世帯の増加、医師・看護師等医療スタッフの確保、その他多くの問題を抱えている。

経営指標の一つである医業収支比率（医業収益／医業費用×100）を見ると平成 21 年度 91.9% であったものが、平成 28 年度には 77.9% まで悪化した。当年度は 83.9% となっている。

経常収支比率（総収益／総費用×100）については、当年度は 100.2% であり、前年度の 100.4% に比べ、0.2 ポイント低下している。主な原因は給与費や材料費の増加によるものである。

キャッシュ・フロー計算書によると、業務活動によるキャッシュ・フローは 26,973,808 円、投資活動によるものは 19,750,593 円、財務活動によるものは△38,409,818 円であり、現金及び現金同等物の期末残高は 333,206,124 円となった。期首と比較すると、当期は 1,949,479 円の純利益計上により 8,314,583 円の増となっている。しかし、経営状況は依然として厳しい状況にあると考えられる（別表 5）。

地域の人口減少、高齢化、診療報酬改定など病院経営を取り巻く環境は厳しさを増しているが、経営悪化の大きな要因は医師の不足である。当年度は、群馬大学名誉教授の倉林医師が地域連携医療センター長に就任し、また 5 月からは、病院始まって以来の常勤の整形外科医が就任するなどにより黒字決算となっているが、医師不足の解消に向けて、不断の取り組みを関係機関と共に行っていただきたい。

平成 28 年度に作成された新藤岡市国民健康保険鬼石病院改革プランに基づき、より抜本的な経営改革を図り、地域の中核病院として、住民が健康で安心して生活できる良質な医療が安定的に提供されるよう強く望むものである。

別 表

病院業務の概要

別表 1

①職員体制の推移

人

職 種	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	年度末職員数	比較	会計年度	年度末職員数	比較	会計年度	年度末職員数	比較	嘱託・パート
医 師	4	2	2	2	△ 1	2	3	0	2
看 護 師	42	1	4	41	1	3	40	2	2
准 看 護 師	13	0	4	13	△ 3	4	16	0	2
薬 剤 師	1	0	2	1	0	2	1	△ 2	2
診療放射線技師	2	0	1	2	0	1	2	0	1
臨床検査技師	3	0	0	3	0	0	3	0	0
理学療法士・作業療法士 言語聴覚士	9	0	1	9	△ 1	1	10	0	1
管理栄養士	2	0	0	2	0	0	2	0	0
視能訓練士	0	0	1	0	0	1	0	0	1
介護福祉士 介護支援専門員 ほか	11	△ 2	4	13	0	4	13	3	7
事務職員	10	1	3	9	0	2	9	0	1
計	97	2	22	95	△ 4	20	99	3	19

②入院患者数の推移

人

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	
一 般	内 科	5,516	1,890	3,626	△ 723	4,349	△ 1,078
	外 科	8,116	△ 5,462	13,578	602	12,976	738
	整形外科	3,223	3,223	0	0	0	0
	眼 科	0	0	0	0	0	0
一般病床 計	16,855	△ 349	17,204	△ 121	17,325	△ 340	
療養病床 計	14,923	△ 911	15,834	1,133	14,701	△ 165	
合計	31,778	△ 1,260	33,038	1,012	32,026	△ 505	

③病床利用率の推移

%

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	病床利用率	比較	病床利用率	比較	病床利用率	比較
一般病床	88.8	△ 1.8	90.6	△ 0.4	91.0	△ 2.1
療養病床	87.0	△ 5.3	92.3	6.8	85.5	△ 1.2
計	87.9	△ 3.5	91.4	3.0	88.4	△ 1.6

④外来患者数の推移

人

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較	延べ患者数	比較
内 科	10,322	△ 712	11,034	△ 1,773	12,807	100
外 科	6,090	42	6,048	66	5,982	△ 55
整形外科	1,990	795	1,195	28	1,167	△ 521
眼 科	546	85	461	△ 131	592	△ 10
皮膚科	176	47	129	△ 29	158	△ 22
計	19,124	257	18,867	△ 1,839	20,706	△ 508

⑤地域別患者数の推移

人

入 院 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
令和元年度	9,972	9,666	19,638	3,340	9,048	32,026
令和2年度	11,155	10,725	21,880	3,050	8,108	33,038
令和3年度	10,844	11,297	22,141	2,436	7,201	31,778
地区別割合(3カ年平均)	33.0%	32.7%	65.7%	9.1%	25.2%	100.0%

外 来 患 者	鬼石地区	藤岡地区	藤岡市計	その他県内	県外	合計
令和元年度	12,833	1,227	14,060	502	6,144	20,706
令和2年度	11,645	1,145	12,790	508	5,569	18,867
令和3年度	11,377	1,591	12,968	473	5,683	19,124
地区別割合(3カ年平均)	61.1%	6.8%	67.8%	2.5%	29.6%	100.0%

別表1(続き)

(消費税抜き) (単位:円)

科目		年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比		
医業収益	入院収益	841,635,068	66.1	835,506,927	66.3	819,790,818	69.1		
	外来収益	129,075,586	10.1	120,288,164	9.5	131,829,976	11.1		
	その他医業収益	37,494,180	2.9	49,034,463	3.9	22,916,811	2.0		
	計	1,008,204,834	79.1	1,004,829,554	79.7	974,537,605	82.2		
医業費用	給与費	841,620,881	66.2	792,252,086	63.1	831,288,500	66.6		
	材料費	薬品費	40,519,414	3.2	36,953,735	2.9	44,347,257	3.5	
		診療材料費、医療消耗備品費等	67,897,533	5.3	63,943,240	5.1	60,698,205	4.9	
	減価償却費	66,449,047	5.2	62,241,936	5.0	64,845,237	5.1		
	資産減耗費	783,300	0.1	1,627,200	0.1	804,500	0.1		
	経費等	委託料	110,728,736	8.7	119,941,801	9.6	107,261,401	8.6	
		その他	73,462,263	5.8	76,995,629	6.1	71,189,155	5.7	
	計	1,201,461,174	94.5	1,153,955,627	91.9	1,180,434,255	94.6		
医業損益		△ 193,256,340	—	△ 149,126,073	—	△ 205,896,650	—		
医業外収益	受取利息及び配当金	6,975	0.0	20,614	0.0	45,471	0.0		
	他会計補助金	127,052,789	10.0	104,875,171	8.3	100,152,240	8.4		
	補助金	23,312,000	1.8	0	—	0	—		
	負担金交付金	54,752,177	4.3	60,370,964	4.8	52,136,127	4.4		
	その他	36,742,751	2.9	33,840,122	2.7	33,057,566	2.8		
	計	241,866,692	19.0	199,106,871	15.8	185,391,404	15.6		
医業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	7,112,674	0.5	7,687,651	0.6	8,659,669	0.7		
	その他	30,134,455	2.4	33,398,476	2.7	27,233,602	2.2		
	計	37,247,129	2.9	41,086,127	3.3	35,893,271	2.9		
医業外損益		204,619,563	—	158,020,744	—	149,498,133	—		
訪問看護収益	訪問看護ステーション収益	22,897,166	1.8	26,719,920	2.1	24,780,888	2.1		
	その他	1,137,284	0.1	1,090,920	0.1	1,211,792	0.1		
	計	24,034,450	1.9	27,810,840	2.2	25,992,680	2.2		
訪問看護費用	給与費	32,084,545	2.5	30,435,651	2.4	30,576,769	2.4		
	経費	1,363,649	0.1	1,432,045	0.1	1,234,808	0.1		
	計	33,448,194	2.6	31,867,696	2.5	31,811,577	2.5		
訪問看護ステーション損益		△ 9,413,744	—	△ 4,056,856	—	△ 5,818,897	—		
特別	利益	0	0	28,859,790	2.3	0	0		
	損失	0	0	28,859,790	2.3	0	0		
特別損益		0	—	0	—	0	—		
純損益		1,949,479	—	4,837,815	—	△ 62,217,414	—		

病院事業会計予算決算対照表

別表2

1. 収益的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

(消費税込み) (単位:円、△印減、%)

科目	区分					科目	区分					地方公営企業法第26条第2項繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比				
1 医業収益	998,891,000	1,011,657,952	12,766,952	101.3	79.2	1 医業費用	1,247,104,000	1,227,111,614	0	19,992,386	98.4	96.3			
(1) 入院収益	843,604,000	841,635,068	△ 1,968,932	99.8	65.9	(1) 給与費	844,918,000	842,430,056	0	2,487,944	99.7	66.1			
(2) 外来収益	122,409,000	129,075,586	6,666,586	105.4	10.1	(2) 材料費	123,419,000	115,289,329	0	8,129,671	93.4	9.0			
(3) その他医業収益	32,878,000	40,947,298	8,069,298	124.5	3.2	(3) 経費	209,232,000	200,822,945	0	8,409,055	96.0	15.8			
						(4) 減価償却費	66,451,000	66,449,047	0	1,953	100.0	5.2			
2 医業外収益	235,657,000	241,329,614	5,672,614	102.4	18.9	(5) 資産減耗費	834,000	783,300	0	50,700	93.9	0.1			
(1) 受取利息及び配当金	20,000	6,975	△ 13,025	34.9	0.0	(6) 研究研修費	2,250,000	1,336,937	0	913,063	59.4	0.1			
(2) 他会計補助金	127,052,000	127,052,789	789	100.0	10.0										
(3) 補助金	15,754,000	23,312,000	7,558,000	148.0	1.8	2 医業外費用	16,400,000	14,296,728	0	2,103,272	87.2	1.1			
(4) 負担金交付金	56,592,000	54,752,177	△ 1,839,823	96.7	4.3	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	7,185,000	7,112,674	0	72,326	99.0	0.5			
(5) 患者外給食収益	1,000	0	△ 1,000	0	0	(2) 患者外給食材料費	53,000	42,240	0	10,760	79.7	0.0			
(6) 長期前受金戻入	30,660,000	30,660,264	264	100.0	2.4	(3) 消費税	2,036,000	2,035,500	0	500	100.0	0.2			
(7) その他医業外収益	5,578,000	5,545,309	△ 32,691	99.4	0.4	(4) 雑損失	2,000	0	0	2,000	0	0			
(8) 雑収益	0	100	100	-	0.0	(5) 雑支出	7,124,000	5,106,314	0	2,017,686	71.7	0.4			
3 特別利益	2,000	0	△ 2,000	0	0	3 特別損失	502,000	0	0	502,000	0	0			
(1) 固定資産売却収益	0	0	0	-	0	(1) 固定資産売却損	0	0	0	0	-	0			
(2) 過年度損益修正益	0	0	0	-	0	(2) 過年度損益修正損	0	0	0	0	-	0			
(3) その他特別利益	2,000	0	△ 2,000	0	0	(3) その他特別損失	502,000	0	0	502,000	0	0			
4 訪問看護ステーション収益	24,540,000	24,148,166	△ 391,834	98.4	1.9	4 訪問看護ステーション費用	34,036,000	33,604,067	0	431,933	98.7	2.6			
(1) 訪問看護収益	24,540,000	24,148,166	△ 391,834	98.4	1.9	(1) 給与費	32,170,000	32,123,269	0	46,731	99.9	2.5			
						(2) 経費	1,866,000	1,480,798	0	385,202	79.4	0.1			
						5 予備費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0			
計	1,259,090,000	1,277,135,732	18,045,732	101.4	100.0	計	1,299,042,000	1,275,012,409	0	24,029,591	98.2	100.0			

2. 資本的収入及び支出の状況
(収入)

(支出)

科目	区分					科目	区分					地方公営企業法第26条繰越額	不用額	執行率	構成比
	予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比		予算額	決算額	対予算比較	執行率	構成比				
1 資本的収入	35,461,000	36,290,493	829,493	102.3	100.0	1 資本的支出	58,116,000	56,263,708	0	1,852,292	96.8	100.0			
(1) 企業債	3,400,000	3,400,000	0	100.0	9.4	(1) 建設改良費	16,306,000	14,453,890	0	1,852,110	88.6	25.7			
(2) 他会計補助金	32,060,000	32,890,493	830,493	102.6	90.6	(2) 企業債償還金	41,810,000	41,809,818	0	182	100.0	74.3			
(3) 固定資産売却代金	1,000	0	△ 1,000	0	0										

損益計算書前年度比較表

別表3

(消費税抜き) (単位:円、%)

科目	区分	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
		金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比	金額	構成比	前年度比
(病院事業収益)		1,274,105,976	100.0	101.1	1,260,607,055	100.0	106.3	1,185,921,689	100.0	98.8
医業収益		1,008,204,834	79.1	100.3	1,004,829,554	79.7	103.1	974,537,605	82.2	96.8
入院収益		841,635,068	66.1	100.7	835,506,927	66.3	101.9	819,790,818	69.1	97.5
外来収益		129,075,586	10.1	107.3	120,288,164	9.5	91.2	131,829,976	11.1	93.3
その他医業収益		37,494,180	2.9	76.5	49,034,463	3.9	214.0	22,916,811	2.0	93.9
医業外収益		241,866,692	19.0	121.5	199,106,871	15.8	107.4	185,391,404	15.6	109.4
受取利息配当金		6,975	0.0	33.8	20,614	0.0	45.3	45,471	0.0	64.8
他会計補助金		127,052,789	10.0	121.1	104,875,171	8.3	104.7	100,152,240	8.4	108.7
補助金		23,312,000	1.8	皆増	0	0	—	0	0	—
負担金交付金		54,752,177	4.3	90.7	60,370,964	4.8	115.8	52,136,127	4.4	113.9
患者外給食収益		0	0	—	0	0	—	0	0	—
長期前受金戻入		30,660,264	2.4	111.2	27,580,742	2.2	98.4	28,033,993	2.4	103.6
その他医業外収益		5,041,300	0.4	93.5	5,389,194	0.4	139.1	3,873,777	0.3	107.3
雑収益		1,041,187	0.1	119.7	870,186	0.1	75.7	1,149,796	0.1	136.1
訪問看護ステーション収益		24,034,450	1.9	86.4	27,810,840	2.2	107.0	25,992,680	2.2	106.4
訪問看護収益		24,034,450	1.9	86.4	27,810,840	2.2	107.0	25,992,680	2.2	106.4
特別利益		0	0	皆減	28,859,790	2.3	皆増	0	0	—
特別利益		0	0	皆減	28,859,790	2.3	皆増	0	0	—
(病院事業費用)		1,272,156,497	100.0	101.3	1,255,769,240	100.0	100.6	1,248,139,103	100.0	104.1
医業費用		1,201,461,174	94.5	104.1	1,153,955,627	91.9	97.8	1,180,434,255	94.6	104.7
給与費		841,620,881	66.2	106.2	792,252,086	63.1	95.3	831,288,500	66.6	108.4
材料費		108,416,947	8.5	107.5	100,896,975	8.0	96.1	105,045,462	8.4	92.4
経費		182,975,635	14.4	93.5	195,730,570	15.6	110.9	176,427,758	14.1	99.2
減価償却費		66,449,047	5.2	106.8	62,241,936	5.0	96.0	64,845,237	5.2	99.3
資産減耗費		783,300	0.1	48.1	1,627,200	0.1	202.3	804,500	0.1	46.1
研究研修費		1,215,364	0.1	100.7	1,206,860	0.1	59.7	2,022,798	0.2	108.6
医業外費用		37,247,129	2.9	90.7	41,086,127	3.3	114.5	35,893,271	2.9	93.9
支払利息及び企業債取扱諸費		7,112,674	0.5	92.5	7,687,651	0.6	88.8	8,659,669	0.7	79.1
患者外給食材料費		38,400	0.0	102.1	37,600	0.0	72.3	52,000	0.0	127.5
消費税及び地方消費税		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑損失		0	0	—	0	0	—	0	0	—
雑支出		30,096,055	2.4	90.2	33,360,876	2.7	122.7	27,181,602	2.2	99.8
訪問看護ステーション費用		33,448,194	2.6	105.0	31,867,696	2.5	100.2	31,811,577	2.5	93.9
給与費		32,084,545	2.5	105.4	30,435,651	2.4	99.5	30,576,769	2.4	93.5
経費		1,363,649	0.1	95.2	1,432,045	0.1	116.0	1,234,808	0.1	103.5
特別損失		0	0	皆減	28,859,790	2.3	皆増	0	0	—
特別損失		0	0	皆減	28,859,790	2.3	皆増	0	0	—
(当年度純利益)		1,949,479		40.3	4,837,815		7.8	△ 62,217,414		△ 3,780.4
前年度繰越利益剰余金		△ 1,115,524,368		△ 99.6	△ 1,120,362,183		△ 105.9	△ 1,058,144,769		△ 99.8
その他未処分利益剰余金変動額		0		—	0		—	0		—
当年度未処分利益剰余金		△ 1,113,574,889		△ 99.8	△ 1,115,524,368		△ 99.6	△ 1,120,362,183		△ 105.9

別表5

<経営指標の推移>

単位:()内に表示

	令和3年度	令和2年度
経常収支比率(%)	100.2	100.4
累積欠損金比率(%)	110.5	113.0
医業収支比率(%)	83.9	85.6
病床利用率(%)	87.9	91.4
入院患者1人1日当たり収益(円)	26,485	25,272
外来患者1人1日当たり収益(円)	6,518	6,125
職員給与費対医業収益比率(%)	83.5	80.2
有形固定資産減価償却率(%)	62.6	60.2
機械備品減価償却率(%)	77.1	74.0
1床当たり有形固定資産(円)	23,079,368	23,040,763

- ◆経常収支比率 算出式=(経常収益)/(経常経費)×100
 ※ 医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、病院活動による収益状況を示す指標で、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要です。
- ◆累積欠損金比率
 算出式=(累積欠損金(当年度未処理欠損金))/(事業の規模(医業収益))×100
 ※ 医業収益に対する累積欠損金(当年度未処理欠損金、当期末処理損失)の状況を示す指標で、累積欠損金が発生していないことが必要です。
- ◆医業収支比率 算出式=(医業収益)/(医業費用)×100
 ※ 病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標で、医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示すものです。
- ◆病床利用率 算出式=(年延入院患者数)/(年延病床数)×100
 ※ 病院の施設が有効に活用されているか判断する指標です。
- ◆入院患者1人1日当たり収益 算出式=(入院収益)/(年延入院患者数)×100
 ※ 入院患者への診療及び療養に係る収益について、入院患者1人1日当たりの平均単価を示す指標です。
- ◆外来患者1人1日当たり収益 算出式=(外来収益)/(年延外来患者数)×100
 ※ 外来患者への診療及び療養に係る収益について、外来患者1人1日当たりの平均単価を示す指標です。
- ◆職員給与費対医業収益比率 算出式=(職員給与費)/(医業収益(営業費用))×100
 ※ 医業収益の中で職員給与費が占める割合を示す指標です。
- ◆有形固定資産減価償却率
 算出式=(有形固定資産減価償却累計額)/(有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿価格)×100
 ※ 有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。
- ◆機械備品減価償却率
 算出式=(機械備品減価償却累計額)/(償却資産のうち機械備品の帳簿原価)×100
 ※ 有形固定資産のうち医療機械備品の減価償却がどの程度進んでいるかを示す指標です。
- ◆1床当たり有形固定資産
 算出式=(有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価)/(年度末病床数(合計))×1,000
 ※ 1床当たりの有形固定資産の保有状況を示す指標です。

〈キャッシュ・フロー計算書の読み方の例〉

	業務活動	投資活動	財務活動	適用
パターン1	+	- (△)	- (△)	本業の業績は概ね好調であり、その資金を投資活動等に充てている状態。比較的良好な経営状態にあると考えられる。
パターン2	+	- (△)	+	本業の業績は概ね好調であるが、投資活動の資金を借入に依存している状態で、今後の返済負担が想定される。
パターン3	- (△)	+	- (△)	本業の業績が厳しく、投資活動を抑制し、借入金の返済を行っている状態。
パターン4	+	+	- (△)	現在の事業でまだ稼げているが、財務体質改善等を行うことで、現状を変革しようとしている状態。